保証書

型番　PSD-34-18		
シリアルナンバー		
お客様	お名前	
	ご住所	〒 TEL
販売店	販売店名・住所・TEL 担当者名	
保証期間　12ヶ月	お買い上げ年月日	年　月　日

※必要事項をご記入の上、大切に保管してください。

保証規定

1. 保証期間内(お買上げ日より12カ月間)に正常な状態でご使用の場合に限り品質を保障しております。
   万一保証期間内で故障がありました場合は、弊社所定の方法で無償修理いたしますので、保証書を商品に添えてお買い上げの販売店までお持ちください。
2. 次のような場合は保証期間内でも有償修理になります。
   (1) 保証書をご提示いただけない場合。
   (2) 所定の項目をご記入いただけない場合、あるいは字句を書き換えられた場合。
   (3) 取扱い上の不注意による故障・損傷の場合。
   (4) お客様による輸送・移動中の衝撃による故障・損傷の場合。
   (5) 天変地異、ならびに公害や異常電圧その他の外部要因による故障・損傷の場合。
3. お客様ご自身による改造または修理があったと判断された場合は、保証期間内での修理もお受けいたしかねます。
4. 本製品の故障、またはその使用によって生じた直接、間接の損害については弊社はその責を負わないものとします。
5. 本製品は医療機器、原子力設備や機器、航空宇宙機器、輸送設備や機器などの人命に関わる設備や機器、及び高度な信頼性を必要とする設備や機器やシステムなどへの組み込みや使用は意図されておりません。これらの用途に本製品を使用され、人身事故、社会的障害などが生じても弊社はいかなる責任も負いかねます。
6. 修理ご依頼品を郵送、またはご持参される場合の諸費用はお客様のご負担となります。
7. 保証書は再発行いたしませんので、大切に保管してください。
8. 保証書は日本国内においてのみ有効です。

切取線

最新の情報はWEBサイトで!!　http://www.sanwa.co.jp/

■サポート情報
■ドライバのダウンロード
■よくある質問（Q&A）
■各種対応表
など、最新情報を随時更新しています。

▼トップページから
▼"サポート&ダウンロード"コーナーへ

ご質問、ご不明な点などがございましたら、ぜひ一度、弊社WEBサイトをご覧ください。

サンワサプライ株式会社

岡山サプライセンター／〒700-0825　岡山市田町1-10-1　☎086-223-3311 FAX.086-223-5123
東京サプライセンター／〒140-8566　東京都品川区南大井6-5-8　☎03-5763-0011 FAX.03-5763-0033
札幌営業所/〒060-0807 札幌市北区北7条西5丁目ストークマンション札幌　☎011-611-3450 FAX.011-716-8990
仙台営業所/〒983-0851 仙台市宮城野区榴岡1-6-37宝栄仙台ビル　☎022-257-4638 FAX.022-257-4633
名古屋営業所/〒453-0015 名古屋市中村区椿町16-7カジヤマビル　☎052-453-2031 FAX.052-453-2033
大阪営業所/〒532-0003 大阪市淀川区宮原4-1-45新大阪八千代ビル　☎06-6395-5310 FAX.06-6395-5315
福岡営業所/〒812-0012 福岡市博多区博多駅中央街8-20第2博多相互ビル　☎092-471-6721 FAX.092-471-8078
金沢営業所 ☎076-222-8384

08/11/JMDaT

ペーパー&CDシュレッダー 取扱説明書

PSD-34-18

最初にご確認ください

セット内容

- ●PSD-34-18本体 ………… 1台
- ●取扱説明書・保証書(本書) ………… 1部

※万一、足りないものがございましたら、お買い求めの販売店にご連絡してください。

ご使用前にこのマニュアルをよくお読みください。また、お手元に置き、いつでも確認できる様にしておいてください。

デザイン及び仕様については改良のため予告なしに変更することがございます。
本書に記載の社名及び製品名は各社の商標又は登録商標です。

サンワサプライ株式会社

安全にお使いいただくために

この取扱説明書の表示では、製品を安全に正しくお使いいただき、あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するために、色々な絵表示をしています。その表示と意味は次のようになっています。内容をよく理解してから、本文をお読みください。

注意を促す記号	行為を禁止する記号		行為を指示する記号	
一般的な注意	禁止	分解禁止	電源プラグをコンセントから抜く	一般的な強制

⚠ 警告

異常(発煙・変な臭い)な状態のまま使用しない。
火災や感電の原因となります。
※電源を切り、電源プラグを抜いてから、販売店または弊社営業所にご相談ください。

分解・修理・改造は絶対しない。
火災や感電の原因となります。
※修理は、販売店または弊社営業所にご依頼ください。

表示された電源・電圧以外で使用しない。
火災や感電の原因となります。

高い場所や、不安定な場所には設置しない。
転倒して、故障やけがの原因となります。

異物(金属・水など)が入った場合は、スイッチを切り、電源プラグを抜く。
火災や感電の原因となります。
※販売店または弊社営業所にご相談ください。

電源コードが破損するようなことはしない。
・電源コードの上に重いものを乗せない。
・加工したり傷をつけたりしない。
・無理に曲げたり、ねじったりしない。
・加熱しない。
・熱器具に近付けない。
火災や感電の原因となります。

可燃性スプレー(エアダスター等)は使用しない。
機械内部やダストボックスにガスが残留し、引火・爆発の恐れがあります。

ご注意

⚠ 注意

お子様には絶対に触れさせないで下さい。
本体内部にはカッターの刃があり、ケガの原因となる恐れがあります。また、事故防止の為ご使用後は必ず電源を切り、電源プラグを抜いて下さい。

髪の毛、ネクタイ、ネックレスなどを投入口にたらさない。
引き込まれて、けがの原因となります。

本体の上に重いものを置かない。
倒れたり、落下して、けがの原因となります。

投入口や排出口には、指を入れない。
内部にカッターがあり、けがの原因となります。

ぬれた手で電源プラグにさわらない。
感電の原因となります。

湿気やほこりの多い場所に置かない。また、水をかけない。
火災や感電の原因となります。

長期間使用しないときは、電源プラグを抜く。
漏電・火災の原因となります。

電源プラグを持って抜く。
電源コード部を引っ張ると感電したり、ショートして発火することがあります。

移動の際は電源プラグをコンセントから抜く。
電源コードが傷つき、火災や感電の原因となります。

お手入れ・点検の際は、電源プラグを抜く。
感電やけがの原因となります。

各部の名称と働き

上から見た図 ③"逆回転"ボタン ②"手動"ボタン

逆回転

手動

入(自動)/切

電源

オーバーロード

オーバーヒート

①電源スイッチ/ランプ

④オーバーロードランプ

⑤オーバーヒートランプ

⑥用紙投入口

⑦カード投入口

⑧CD/DVD投入口

⑩インターロックスイッチ

⑪電源コード

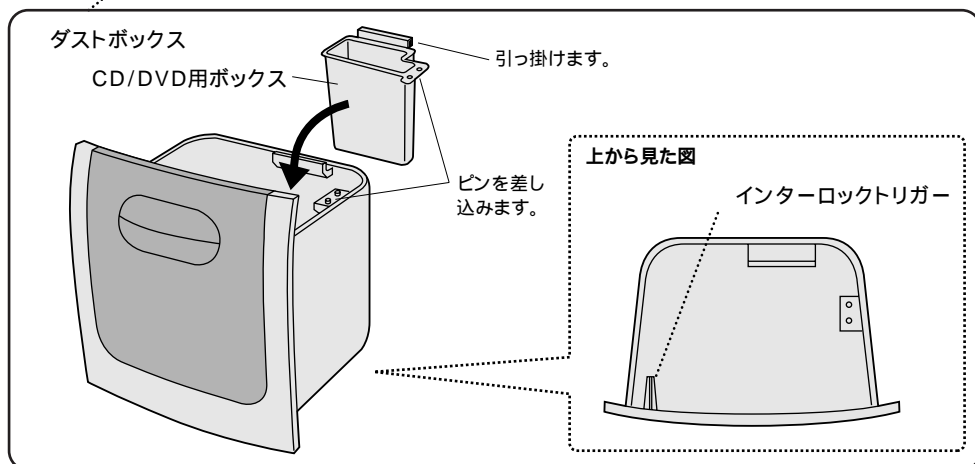
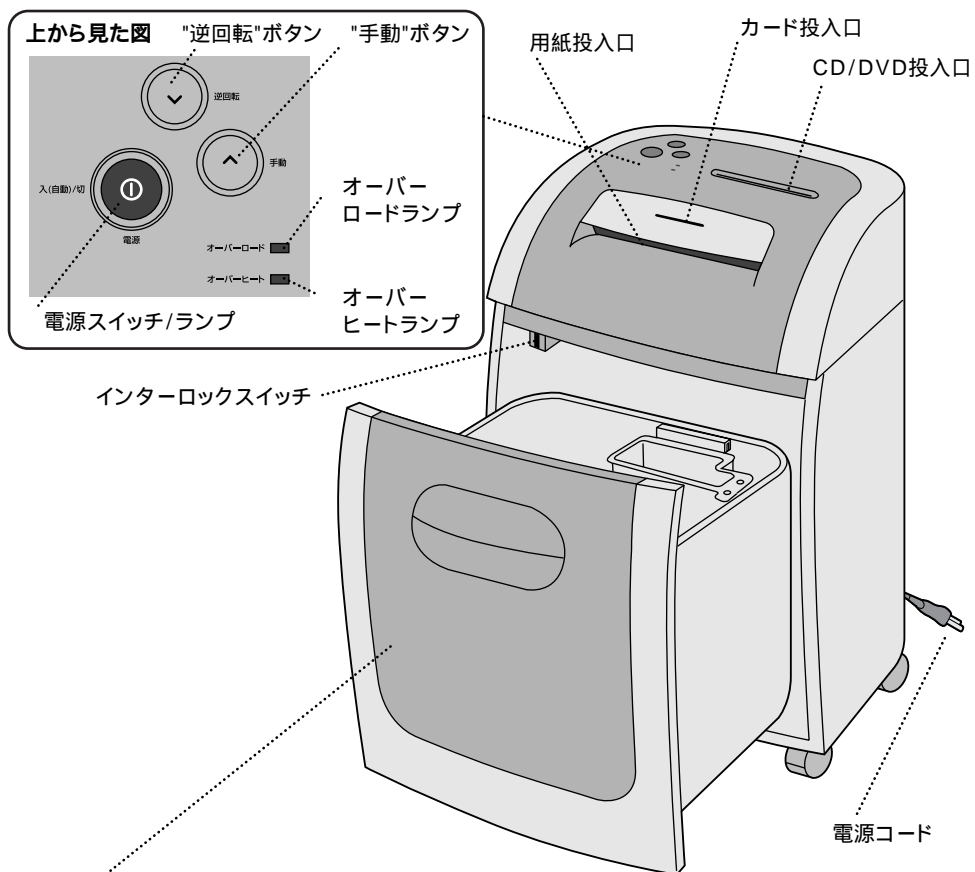
⑨ダストボックス

CD/DVD用ボックス

引っ掛けます。

ピンを差し込みます。

上から見た図

⑩インターロックトリガー

① 電源スイッチ/電源ランプ

電源スイッチを押すと、電源ランプが点灯し、電源が入ります。
各投入口にあるセンサーを細断する物が通過することにより自動的にカッターが正転作動・停止します。使用後は再度電源スイッチを押して電源を切ってください。

② "手動"ボタン

電源が入っている時、"手動 "ボタンを押すとカッターが正転作動します。

③ "逆回転"ボタン

電源が入っている時、"逆回転 "ボタンを押すとカッターが正転とは逆方向に作動します。
(紙が詰まった時などに使用します。)

④ オーバーロードランプ

規定以上の枚数が投入された場合、自動的にモーターが停止してオーバーロードランプが点灯します。

⑤ オーバーヒートランプ

連続運転(3分以上)を続けたり、書類がかみこんだ状態で放置すると、自動的にモーターが停止してオーバーヒートランプが点灯します。

⑥ 用紙投入口

細断する紙を投入します。投入口中央にあるセンサーを用紙が通過するとカッターが正転作動し、細断を開始します。紙以外の投入は絶対に避けてください。必ず規定細断枚数を守ってください。

⑦ カード投入口

細断するカードを投入します。投入口中央にあるセンサーを用紙が通過するとカッターが正転作動し、細断を開始します。カード以外の投入は絶対に避けてください。
必ず規定細断枚数を守ってください。

⑧ CD/DVD投入口

細断するCD/DVDを投入します。投入口中央にあるセンサーを用紙が通過するとカッターが正転作動し、細断を開始します。CD/DVD以外の投入は絶対に避けてください。
必ず規定細断枚数を守ってください。

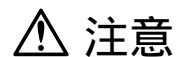
⑨ ダストボックス

細断クズを収容するダストボックスです。引き出して細断クズを取出します。貯めすぎないようにこまめに取出してください。細断クズが満杯になりますとブザーでおしらせします。
細断クズは各地方自治体の法令に従って分別し、廃棄してください。

⑩ インターロックスイッチ/トリガー

ダストボックスをセットすることにより、インターロックスイッチとトリガーがかみ合います。
ダストボックスがしっかりとセットされていない場合(インターロックスイッチとトリガーがうまくかみ合っていない場合)は、安全のために本機は作動しません。

⑪ 電源コード

必ず家庭用AC100Vのコンセントに接続して使用してください。タコ足配線は避けてください。

必ずコンセントに近く、電源プラグを容易に取外しできる場所に本体を設置してください。

ご使用の前に

本機は紙類およびCD・DVD・カードの細断専用機です。

※クリップなどの金属や、フロッピーディスク・OHPシート・新聞紙・カーボン紙・感熱紙・ポリ袋・布・ビニール・フィルムなど、ラベル用紙・シールなどの糊の付いた物は投入しないでください。

細　断　能　力

紙詰まりなどによる故障を避けるために、下記の細断枚数を必ず守ってください。

投入口	摘　　要	カットタイプ	規定細断枚数
用紙投入口	A4コピー用紙（64g/m²）	クロスカット（4×44mm）	18枚
CD・DVD投入口	CD・DVD（直径120mm）	ストレートカット(3分割)	1枚
カード投入口	カード（幅86mm）	クロスカット（4×44mm）	1枚

※紙質や湿度等により細断枚数は異なります。

※用紙投入口（A4サイズ）より大きな紙を細断する場合は、投入口より小さい幅に折ってから細断を開始してください。（規定枚数を超えないようにしてください。2ツ折/1枚=2枚）

※紙は用紙投入口へ、CD・DVDはCD/DVD投入口へ、カードはカード投入口へ正しく投入してください。

⚠ 注意	**投入口を間違えて投入しないでください。** ■用紙投入口に紙以外の物が入ると故障やけがをすることがあります。

⚠ 警告	**投入口にネックレス・ネクタイ・衣類・髪の毛などが引き込まれないようにしてください。使用していない投入口のカッターも同時に作動しています。** ■感電やけがをすることがあります。 もしも引き込まれそうになった時は、“ 逆回転 ”ボタンを押して取除いてください。

ーオートカットオフ機能ー

本機はモーター保護のためオートカットオフ機能が働いて、連続運転（3分以上）を続けたり、書類がかみこんだ状態で放置すると、自動的に停止します。この機能が働き本機が停止した時は電源スイッチを押して電源ランプを消灯し、電源プラグを抜いて放置してください。
50分後には再び細断可能になります。

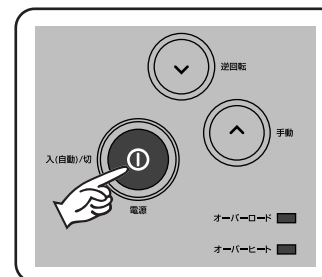
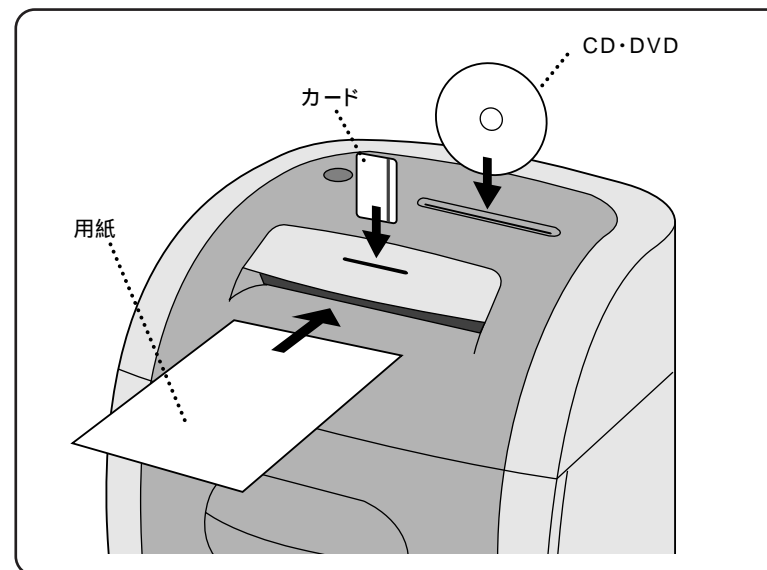
ーインターロックスイッチー

ダストボックスが正しい位置にないと、インターロックスイッチが働かず、安全のために本機は作動いたしません。ダストボックスは奥までしっかりと入れてください。

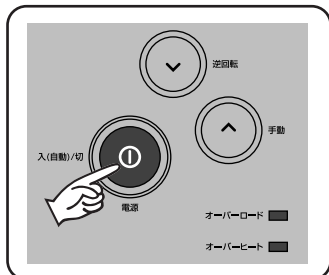
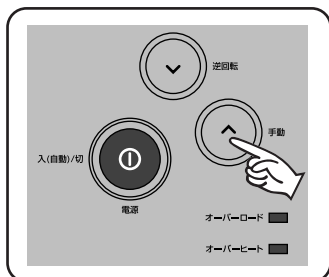
ご使用方法

●自動細断

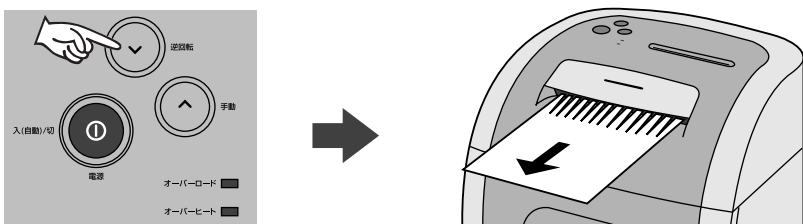
1. 電源プラグをコンセント（100V）に差し込んでください。

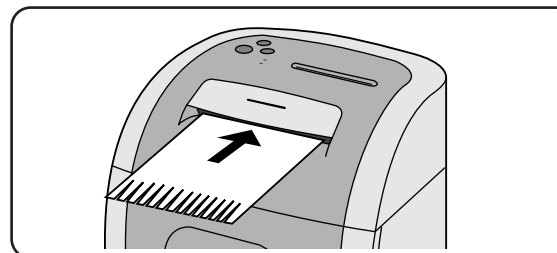
2. 電源スイッチを押してください。電源ランプが点灯します。
※ダストボックスが正しい位置にないと本機は作動いたしません。
ダストボックスは奥までしっかり入れてください。

3. 細断する紙またはカード・CD・DVDを各投入口の中央に入れてください。
投入口内部のセンサーの前を通過するとカッターが正転作動し、細断を開始します。
規定細断枚数を必ず守ってください。
※まっすぐ投入してください。
※投入口の内部中央にあるセンサーから外れると、細断は止まります。
※紙とCD・DVD・カード・フロッピーディスクの同時細断は出来ません。

4. 終了後は必ず電源スイッチ押して、**電源ランプを"消灯"し、電源プラグを抜いてください。**

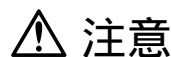
●手動細断(センサーを通らない形の紙を細断する場合など)

1. 電源プラグをコンセント（100V）に差し込んでください。
2. 電源スイッチを押してください。電源ランプが点灯します。
※ダストボックスが正しい位置にないと本機は作動いたしません。
ダストボックスは奥までしっかり入れてください。

3. "手動"ボタンを押してください。押している間、カッターが正転作動します。

4. "手動"ボタンを押したまま、細断する紙を投入口に入れて、細断してください。
規定細断枚数を必ず守ってください。"手動"ボタンをはなすと細断は止まります。
5. 終了後は必ず電源スイッチ押して、**電源ランプを"消灯"し、電源プラグを抜いてください。**

紙詰まりを起こしたとき

1. 規定枚数以上の投入、紙を斜めに投入したことなどで紙詰まりが起きると、モーターが停止します。
“ 逆回転 ”ボタンを押して、詰まった紙を引き出してください。

※逆回転の際、以前に細断した紙が出てくる場合がありますが、製品の異常ではありません。

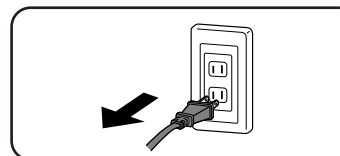
2. 紙の量を規定枚数以下に減らして、細断した逆側の方向から用紙投入口にまっすぐに入れてください。

3. 終了後は必ず電源スイッチを押して、**電源ランプを"消灯"し、電源プラグを抜いてください。**

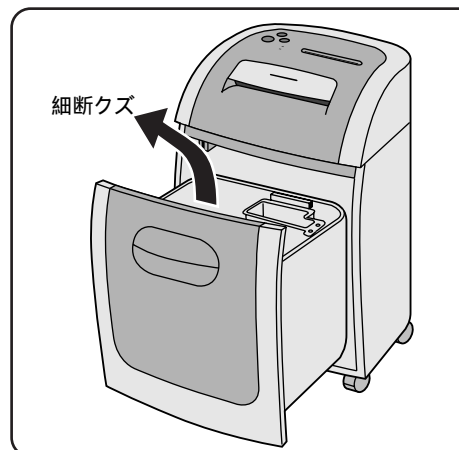
★モーターに負担がかかりますので、頻繁に正転⇔逆回転を繰り返さないでください。

注意

紙詰まりを起こしたままの状態で放置しないでください。
■故障する原因になります。

細断クズの捨て方

細断クズが満杯になりますと、ブザーが鳴り細断が停止します。
ダストボックスを引き出して細断クズを捨ててください。
※安定した状態を保つため、ダストボックスの8分目程度で細断クズを捨てることをおすすめします。

1. 電源ランプが消灯していることを確認してから、電源プラグをコンセントから抜いてください。

※電源プラグを抜かずにクズを捨てると、コードが引っかかったり、本体が落下してけがをしたり、本体の故障の原因となる場合があります。

2. ダストボックスを引き出して、細断クズを取出してください。

※インターロックスイッチ/トリガーを破損しないように丁寧に取り扱ってください。
※細断クズは各地方自治体の法令に従って分別し、廃棄してください。

使用上の注意とお願い

規定以外のものは入れないでください。
※金属や衣類は、カッターに損傷をあたえ、故障の原因となります。

湿った紙やカーボン紙、シールのついた紙は入れないでください。
※カッターに細断クズがからまり、細断性能を低下させます。

ダストボックスに、ビニール袋や紙袋等をかけて使用しないでください。
※本体がしっかりセットされず、正常に動作しない場合があります。

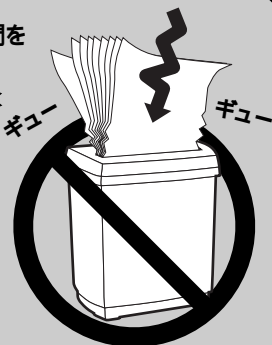
必要以上に逆回転させないでください。
※細断クズが投入口にたまり、故障の原因となります。

使用後は必ず電源スイッチを押し、電源ランプを消灯してください。

ダストボックスを外した状態では、安全装置により本機は作動いたしません。

必ず規定細断枚数・連続運転時間を守ってご使用ください。

※モーターを傷めたり、故障の原因となったりします。

	紙	CD・DVD・カード
規定細断枚数	18枚	1枚
連続運転時間	3分	

⚠ 注意　**分解、修理、改造を行わないでください。**
■感電やけがをすることがあります。

仕　様

PSD-34-18

細断物	コピー用紙	CD・DVD	カード
投入幅	217mm(用紙投入口)	121mm(CD/DVD投入口)	60mm(カード投入口)
細断形状	4×44mmクロスカット	ストレートカット(3分割)	4×44mmクロスカット
細断枚数	A4コピー用紙/18枚	1枚	1枚
細断時間	2.3m/分(18枚時)・3m/分(1枚時)		
電源	AC100V　5A		
消費電力	490W		
サイズ	W418×D310×H630mm		
バケット容量	約32ℓ		
騒音	約70dB		
重量	約16Kg		
連続使用時間	3分（50分休止後再運転可）		

お手入れ

⚠ 注意　**お手入れの際は、必ず電源スイッチを押して、電源ランプを"消灯"し、電源プラグを抜いてください。**　■感電やけがをすることがあります。

本体の外側の汚れは、柔らかい布でから拭きしてください。
汚れがひどい時は、薄めた中性洗剤を少し含ませた柔らかい布で拭いてください。
※お手入れはマシン本体の外樹脂部とキャビネット（マシン下部）だけにしてください。
●ガソリン・ベンジン・シンナー・みがき粉などでは、絶対に拭かないでください。
※ひびわれ、変形、変色、故障の原因となります。

おや？故障かな？と思ったら・・・

⚠ 注意　**お手入れの際は、必ず電源スイッチを押して、電源ランプを"消灯"し、電源プラグを抜いてください。**　■感電やけがをすることがあります。

状　況	調べるところ	直し方
動かない	電源プラグが正しくコンセントに入っていますか？	電源プラグを正しくコンセントに入れ直してください。
	電源ランプが点灯していますか？	電源スイッチを押し、電源ランプを点灯させてください。
	細断物が投入口中央のセンサーを通過していますか？	センサーが感知できるようにまっすぐに投入してください。または手動細断を行ってください。
	ダストボックスが正しくセットされていますか？	ダストボックスが正しくセットされていないと安全装置が働き作動しません。奥まできちんと入れてください。
	紙詰まりを起こしていませんか？	"逆回転"ボタンを押して、詰まった紙を取除いてください。
細断中に止まった または 細断できない	長時間の使用により、オートカットオフ機能が働いていませんか？	連続運転時間をこえて細断したり、紙がかみこんだ状態で放置すると、オートカットオフ機能が働いて停止します。電源を切り、電源プラグを抜いて、50分そのままおいてください。再び細断を再開できます。
	紙を多く入れすぎていませんか？	規定細断枚数以下にして細断してください。
	投入口の幅より大きな紙を入れていませんか？	投入口の幅より小さな紙で細断を行ってください。
	紙が斜めに挿入されていませんか？	まっすぐに挿入してください。
	クリップ・ピンなどをかみ込んでいませんか？	一度逆回転させた後、電源を切り、電源プラグを抜いて、本体を逆さまにするなどして取除いてください。

※点検後、なお異常がある場合は販売店または弊社営業所にご連絡ください。